

■一般図と主題図

〔 〕: 土地の起伏や河川、道路、集落などといった基本的な情報を盛り込んだ地図。
 〔 〕 発行の〔 〕 分の1地形図や〔 〕 分の1国土基本図
 1kmは、2万5千分の1地形図では〔 〕 cmで表される。
 主題図: 特定の事象を示した地図。観光地図や道路地図、統計地図など。

■統計地図

絶対分布図

- ①〔 〕: ある事象の数量・分布を点(ドット)で表した統計地図。分布図に用いられる。
 ※分布図はモルワイデ図法、グード図法などの〔 〕 図法が適する。
 ②〔 〕: 等温線や等高線など。地図うえで等しい地点を結んだ等値線を用いた地図。
 ③〔 〕: 統計数値を視覚的に表現した地図。
 ④〔 〕: 物資や人などの移動を流線で表現した地図。流線の太さが移動量を示す。
 ⑤カルトグラム: 統計値を効果的に表すため、本来の地図の形や大きさを変形させた地図。

これら①～⑤の絶対分布図は、人口、飼育頭数、降水量などの絶対的数値を表現するのに適する。

相対分布図

- ①〔 〕 (コロプレスマップ): 統計数値をいくつかの階級に区分し、各階級ごとに異なった色彩や模様を用いて分布を表現した統計地図。
 ②〔 〕: 地図をメッシュ(網目)に分けて、一つひとつのメッシュに情報を示した地図。
 これらの①～②の相対分布図は、1人あたり県民所得や人口密度のような相対的数値を表現するのに適する。

■新しい土地利用

- 〔 〕 (地理情報システム): 蓄積されたデータを、コンピュータを利用して地図上に表すシステム。
 ※〔 〕 (防災地図)などに利用される。
 〔 〕: 人工衛星からの電波を受信し、地球上の正確な位置を測るシステム。カーナビなど。
 〔 〕: 人工衛星や航空機を利用して、地表の状況や植生、海面の温度分布などを分析。

〔問題1〕都道府県別人口密度を表現する地図として最も適当なものはどれか。

階級区分図 等値線図 ドットマップ 流線図

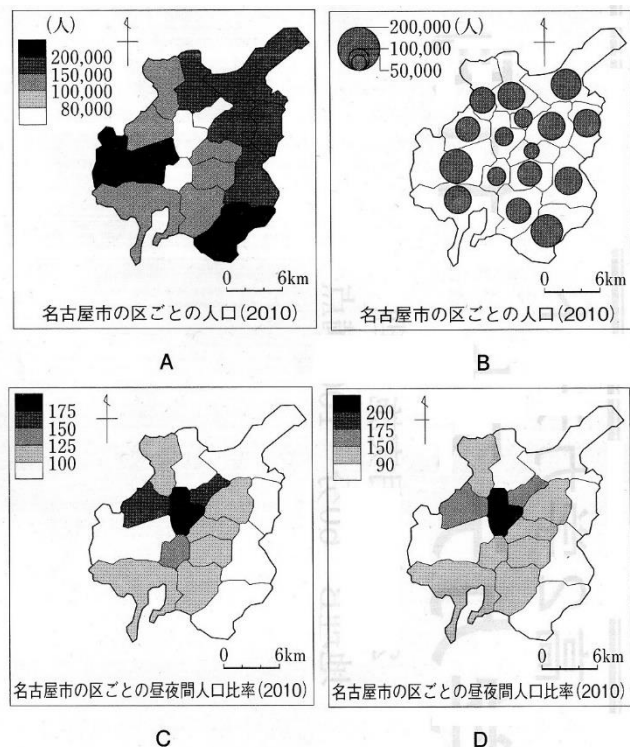
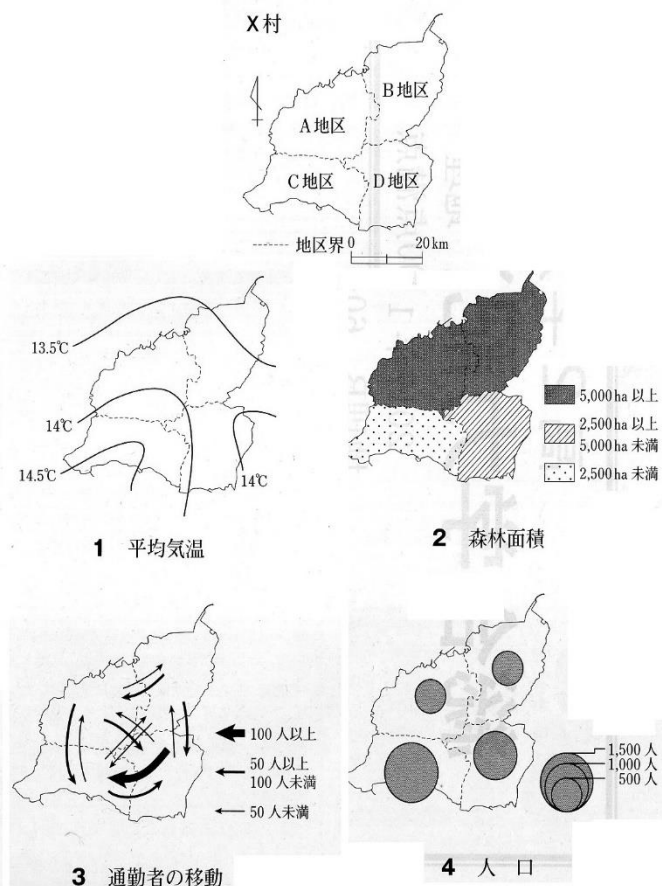
〔問題2〕様々な地図情報や統計を組み合わせる地理情報を表示・分析するものはどれか。

GPS リモートセンシング GIS

下の1～4の統計地図のうち、誤っているものは〔 〕

※ヒント: 絶対的数値は絶対分布図で示す。

A～Dのうち、名古屋市各区の人口を示すのは〔 〕
 また、名古屋市各区の昼夜間人口比率を示すのは〔 〕



人口
昼夜間人口比率